

製本のススメ

Vol. 47

忘年会・クリスマス・お正月・新年会とイベントが目白押しの季節ですね。世間では不景気な話題ばかりが流れて、せっかくの楽しいイベントも今ひとつ盛り上がりがない年末ですが、こんな時こそ厄払い！大掃除を念入りにして、幸運の神様を無理やりにも招待しましょう！

今回は**共通ルール**のお話

印刷では欠かせない「**針・クワエ**」は製本でも欠かせません。これがしっかりしていないと、製本できません。むろん印刷でも片面刷りなら、裏返して印刷をするときに必要な事は、みなさんお判りと思いますが、最近では両面印刷が出来ますので針飛びなどの事故を印刷で発見されず、製本所へ送られて来る事が多くなりました。この不良を事前にチェックする為に、まず**印刷段階で「針印」を必ず付ける**様にしましょう。さらに印刷された用紙の排出箇所、きちんと紙が揃う様に調整しておけば、印刷時点で**針飛びの事故が一目でわかります**。また外注先へ印刷を依頼する場合にも必ず「**針印**」の指示は行ってください。

さて製本では、この**針・クワエの直角を基準に作業**していきます。断裁前には針側を突き当てて紙揃えしなおし、正確に切りわけたり、折加工では針側を基準に折る位置を決めます。感圧紙など薄い用紙では、いきなり針側で揃えようと用紙を痛めてしまう事があるので、まずは逆側で揃えてから、改めて針側で揃え直すほどです。

その他 **ビク抜加工やPP加工・ナンバーリング加工等、印刷物を扱う様々な工程で、この「針・クワエ」を基準に使います。**

「針・クワエ」とは印刷と製本を含める後加工全体の共通ルール1号で、言い返れば**【基本中の基本】**と言ってよいでしょう。むろん針・クワエを正しく設定するために印刷用紙は直角に化粧断裁されていることは言うまでもありません。営業さんが自信を持って納品に行けるものを作るには、まず良い材料が不可欠ですね。



Tea break

一年間のご愛顧ありがとうございました。製本のススメは皆さんに微力でも役立てて頂けたでしょうか？井関製本は「任せて安心」と言って頂けるように今年社内でも若手新人たちの教育や、ベテランの技術研究を進めてきました。

材料や原油の値上がり・激しい価格競争と、良い話題材料が見あたらない一年でしたが、ゆく年を反省し、ぜひとも暖かい春を呼びましょう。

by (株) **井関製本**